

【研究概要】

大腸 ESD は大きなポリープを一括で切除できる有用な治療法であるが、一定の頻度で遅発性偶発症（Post-ESD coagulation syndrome: ESD 後の腹痛を伴う症候群、術後出血、遅発性穿孔）が発生する。ESD 後潰瘍のクリップ縫縮がその予防に有用とされているが、大規模な前向き比較試験は行われていない。今回、我々は多施設で縫縮なしまたはありで前向き比較試験を行うこととした。